

大学・高専機能強化支援事業
（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）【支援１】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F140310110758
大学名	福岡工業大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	福岡県
大学全体の総収容定員数	3,720 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	工学部（電子情報工学科、生命環境化学科、知能機械工学科、電気工学科）、情報工学部（情報工学科、情報通信工学科、情報システム工学科、システムマネジメント学科）、社会環境学部（社会環境学科）		

2.事業概要

経営工学とデータサイエンスの専門性を併せ持つ課題解決エンジニアを育成し、成長分野における高度人材輩出の推進、先端IT人材不足解消を実現するため、入学定員90名、収容定員360名からなる情報工学部情報マネジメント学科を令和6年度に開設予定である。 地方自治体・企業等と連携したPBL（課題解決型学習）や福岡の地の利を活かした国内外からのゲスト講師による講演、海外研修などのグローバルプログラムを特色とした授業科目を展開し、学生一人ひとりに合わせた個別最適な学びが可能となる体系的なカリキュラムを編成することとしている。 また、3つのポリシー（DP、CP、AP）に基づき、学修目標の具体化、体系的な教育課程の編成ならびに入学者選抜が実施できる体制を構築し、社会の多様な期待や要請に適切に応えることで、自律的に考え、行動し、様々な分野での創造性を発揮できるような 実践型人材の育成 を目指す。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度					
認可申請・届出予定	令和5年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報工学部情報マネジメント学科					
設置等組織の学位分野	工学関係					
当該学部等の所在地	福岡県福岡市東区和白東3丁目30番1号					
入学定員	90 名					
収容定員	360 名					
入学定員の増加数	90 名					
他学部等の入学定員の減少数	65 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

<基本情報>

改組予定年度：令和6年度

改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）

設置等組織名：情報工学部情報マネジメント学科

入学定員：【R6新設】90名

所在地：福岡県福岡市



<情報マネジメント学科の特徴・コンセプト>

経営工学×データサイエンスで社会を変える

課題解決エンジニアを育成

組織がもつ情報を活用し、ビジネス上の課題を数理的なアプローチで解決・効率化する「経営工学」。そこに数学やプログラミングの技術でデータを分析する「データサイエンス」を掛け合わせ、根拠を持って社会に幸せな変化をもたらすことができる課題解決エンジニアを育成します。

<情報マネジメント学科の教育内容>

01

デジタル時代のビジネスを
リードする専門的な学び

「経営工学」と「データサイエンス」は深く
関わり合っています。その両方を専門的に学ぶ
ことでさらに理解を深め、ビジネスに活かせる
応用力や解決力を身につけます。

02

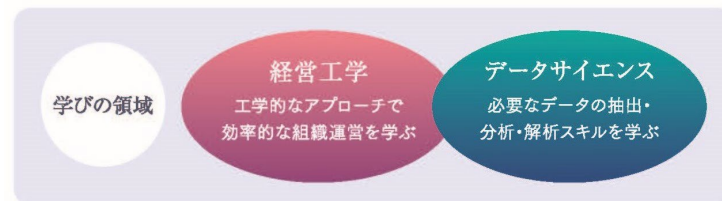
地域や企業・自治体と連携した
実践的な学び

修得した知識・技術を実社会で応用する実践的な
学修として、地域・企業・自治体と連携したPBL
（課題解決型学習）を実施し、マネジメント力や課題
解決能力を身につけます。

03

世界で活躍する
グローバル人材を育成する

世界に求められるデータサイエンティストを育成
するため、国内外のゲスト講師による講演や海外
研修などのグローバルプログラムを取り入れ、
グローバル人材を育成します。



<申請要件>

②十分な学生確保の見通しを備えた計画

⇒進学意向調査結果：入学定員90名に対し、入学意向1,127名〔回答者全体7,953名に占める割合14.2%〕 【2023年6月認可：収容定員の総数の増加】

③産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編制、学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜の実施

⇒3つのポリシー（DP、CP、AP）に基づき、学修目標の具体化、体系的な教育課程の編制ならびに入学者選抜が実施できる体制を構築している。

④特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備

⇒「ITスキルやデータサイエンスに関する知識と技術及び経営工学に関する知識の修得とともに、情報の活用による組織の価値を高めるためのマネジメント手法を修得させる教育を行い、情報処理と情報分析に関する理論や手法を組織活動の場面に適用することができる行動力をもって、組織の知力の向上や組織の価値の創造に貢献できる人材を養成する」という教育研究上の目的に基づき、適切な管理・教育体制を構築し、教育研究環境を整備している。

⑤実務経験のある教育の配置計画

⇒実務経験のある専任教員を複数配置（さらにクロスアポイント制度を利用し企業の技術顧問として実務に就く教員も配置）

⑦地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等との事前協議

⇒地元民間企業とFintech分野でのAI・データサイエンスを中心とした教育内容を協議 ※Fintech=金融（Finance）+技術（Technology）の造語

⑪大学全体の外部資金獲得計画

⇒令和9年度までに寄附金、研究費等の外部資金を年間で243,000千円獲得する計画である。（申請時の平均獲得金額から10%拡大）

⑫自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施

⇒近隣自治体（古賀市・新宮町等）との連携PBLや海外協定校（タイ・キングモンクット工科大学）との相互派遣プログラムの実施

⑫多様な入学者の確保に向けた取組

⇒多様な入試制度を実施（一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、有資格者選抜、帰国子女および国際バカロレア資格取得者選抜等）